

## 自然で育つ、 子どもの五感と豊かな感性

～コーザン流・森の子育てフォーラム～

2月11日(日)、ふおれすと鉱山で『コーザン流・森の子育てフォーラム』（NPO法人モモンガくらぶ主催）が開かれました。

この日は、文化女子大学室蘭短期大学の森谷直樹さんの講演『なんで、幼児に自然体験活動がいいの？』や、同会場の事業に参加している方たちの実践報告『パパママの発表会～コーザン流子育てはこんな感じです』が行われ、自然体験活動の長所や効果のほか、「家庭ではつい子どもを怒ってしまいますが、自然の中では気持ちがおおらかになります」などと感想を含めて体験談を発表していました。

午後からは、参加者が雪のグラウンドに飛び出し、自然の中での子育ての大切さを体験していました。



## 仕事に必要な技術を学ぶ



～観光ビジネス実務講座～

1月22日(月)から2月26日(月)まで、登別商工会議所で15回開催された観光ビジネス実務講座（登別白老雇用創出協議会主催）は、17人の参加者がパソコンの技術を学んだほか、初級の中国語や韓国語を体験していました。

就職内定者や求職中の方を対象にしたこの講座は、仕事に役立ててもらおうと、パソコンのワードでは『自分のまちを売り込め!!』をテーマにポスターを作ったり、エクセルでは関数計算などをしたりしていました。

また、中国語講座では、講師を務めた室蘭工業大学大学院の満都拉（マンドゥーラ）さんが、母国（中国）の内モンゴル自治区を紹介。その後中国語の母音と子音の発音の練習を行い、簡単な日常会話の習得を目指していました。

参加者は仕事に必要な知識を身に付けようと、真剣に取り組んでいました。

## カメラとともに昔を振り返って

～昭和の懐かしいカメラ展～

2月1日(木)から5月15日(火)まで、郷土資料館で『昭和の懐かしいカメラ展』（市主催）が開かれています。

この催しは、子どもたちから昔のカメラを見たいという希望とカメラ愛好家の大本弘さん（室蘭市在住）などからのカメラの寄贈により開催。展示されているカメラは、昭和初期に発売されたジャバラになっているスプリングカメラ、上からのぞく二眼レフ、一眼レフ、コンパクトカメラと歴史を追って飾られているほか、8ミリカメラやビデオカメラなど約100台のカメラが歴史を感じさせていました。

開催期間の後半には、8ミリビデオの映写や日光写真の体験なども予定されています。

